

奨学金出願の注意事項

この奨学金は、全出願者を一括取りまとめて団体へ推薦するものです。

出願に際しては、下記の事項に十分留意し書類不備のないようにしてください。

記

奨学金名	公益財団法人 山口県ひとつづくり財団
出願期限	5月1日(金) 期限厳守
出願窓口	学生部事務室厚生課(多摩) / 理工学部学生生活課 / 市ヶ谷田町キャンパス学生部事務室
採否の決定	7月中旬に団体又は大学から通知する
出願書類	<p>① 学外奨学金個別出願用申請書(大学所定用紙)</p> <p>* ② 奨学生願書【A4サイズで両面印刷】</p> <p>* ③ 奨学生推薦調書</p> <p>※ 「推薦所見」欄については面談し、①の裏面(自己推薦項目)の内容をもとに、大学で作成することになりますので、自己PRを詳細に記入してください。</p> <p>④ 「住民票」原本(家族全員分、本籍・個人番号の記載されていないもの)</p> <p>⑤ 所得に関する証明書(奨学生出願のしおり参照)</p> <p>A 最新の所得証明書(無所得者含む家族全員分)</p> <p>B 令和元年に所得のある人</p> <p>給与所得者(令和元年分の源泉徴収票の写し)</p> <p>確定申告者(令和元年分の確定申告書等の写し)</p> <p>年金受給者(令和元年分の源泉徴収票の写し)</p> <p>⑥ 出身高等学校調査書(1年生)</p> <p>成績証明書(2年生以上)</p> <p>※ 奨学生出願のしおりは熟読しておいてください。</p> <p>特に採用が決定した後の手続き「奨学金借用証書」に連帯保証人2名を記入(父と母の2人で連帯保証人になることはできません)の件等、充分理解したうえで出願してください。</p>

* 印は団体の
所定用紙

※ 問い合わせ先 学生部事務室厚生課(042-674-3461)

(2020年4月より課名が「厚生課→奨学課」、「理工学部学生生活課→都心学生生活課」になります)

出願者番号	
市町コード	
校種コード	
学校コード	

【大学・短期大学用】

山口県ひとつくり財団奨学生願書

フリガナ			※ 国公立 / 私立 / 私立短大	
氏名			大学	学部 年
生年月日	※ 昭和・平成	年 月 日生	学校所在地 〒	
本人	〒		入学	年 4月 卒業予定 令和 年 3月
現住所	TEL () - ※自宅・自宅外	携帯 - -	貸与期間	令和 2年 4月 ~ 令和 年 3月
保護者	〒 山口県		※定住促進奨学金希望	
住所	TEL () -	携帯 - -	有 ・ 無	貸与月額 円
家 庭 状 況	続柄	氏名	年令	・所得の種類(給与、営業所得等) ・学校は公私・課程の別を記入
	↓続柄欄に、家計支持者には○印、別居者には△印をつけてください。			
	本人			※通学形態
				自宅通学・下宿
				自宅通学・下宿
				自宅通学・下宿
				自宅通学・下宿
				自宅通学・下宿
※ 生活保護受給 有 ・ 無 (有の場合は証明書を添付してください)				
↓チェック✓欄				
添付書類	<input type="checkbox"/> 住民票 [本籍・個人番号のないもので、生計を同じくする 家族全員分] <input type="checkbox"/> 最新の所得証明書 [無所得者含む 家族全員分] <input type="checkbox"/> 源泉徴収票(写) [(本人・生計を同じくする兄弟姉妹のアルバイト等含む) 給与所得者] <input type="checkbox"/> 確定申告書(写) [確定申告者] <input type="checkbox"/> 年金の源泉徴収票(写) [年金受給者]			
奨学金貸与理由	家庭の事情、最近の被災、家族の長期療養、身体障がい、離職等の状況を記入してください。			

(裏面も記入してください)

- 二重枠のところは、記入しないでください。
- ※のところは、該当のものを○で囲んでください。

学校点検者印

※奨学生等の関係	山口県ひとづくり財団の奨学生であった	・高等学校 ・大学短大等 奨学生番号 ()	・奨学生ではなかった
	日本学生支援機構(貸与型)	・出願中である	・出願していない
	その他の奨学生(貸与型)	・出願中である () 奨学生)	・出願していない

※該当するところを○で囲み、()に記入してください。

以上のとおり記載事項に相違ありません。

必要書類を添えて出願します。

令和 年 月 日

公益財団法人 山口県ひとづくり財団 理事長 様

出願者 (本人) 氏 名 _____ 印
住 所 _____

保護者 (法定代理人)

フリガナ

氏 名 _____ 印

(昭和 年 月 日生満 歳)

本人との続柄 ()

住 所 山口県 _____

・本人と保護者はそれぞれ自署し、それぞれ別の印で押印すること。

表面
原本はA4両面印刷

出願者番号	記入しない
市町コード	
校種コード	
学校コード	

裏面
原本はA4両面印刷

【大学・短期大学用】

山口県ひとつくり財団奨学生願書

フリガナ		※ 国公立 / 私立 / 私立短大			
氏名		大学		学部 年	
生年月日 ※ 昭和・平成		年 月 日			
本人		入学	年 月	卒業予定	令和 年 3月
現住所		貸与期間		令和 2年 4月 ~ 令和 年 3月	
保護者		※ 定住促進奨学金希望		貸与月額	
住所		有 ・ 無		定住希望の場合 一般額+20,000円	

家	続柄	氏名	年令	所得の種類(給与、営業所得等) ・学校は公私・課程の別を記入	※ 通学形態
	↓ 続柄欄に、家計支持者には○印、別居者には△印をつけてください。				
家族	本人	奨学 太郎	18	私立大学	自宅通学 下宿
	父	奨学 父郎	50	給与所得 単身赴任	自宅通学・下宿
	母	奨学 母美	50	営業所得	自宅通学・下宿
	① 兄	奨学 兄郎	23	給与所得 住民票を異動し、就職して独立生計の場合は記入不要	自宅通学・下宿
	② 姉	奨学 姉美	20	私立大学	自宅通学・下宿
家庭	弟	奨学 弟郎	14	公立中学校	自宅通学 下宿
	祖父	奨学 爺郎	75	年金	自宅通学・下宿
※ 生活保護受給 有 ・ 無 (有の場合は証明書を添付してください)					

状況		※ 生活保護受給 有 ・ 無 (有の場合は証明書を添付してください)	
付書類		記入漏れ注意	
希望奨学金貸与理由		アルバイト分 添付漏れ注意	

<input type="checkbox"/> 住民票 <input type="checkbox"/> 最新の所得証明書 <input type="checkbox"/> 源泉徴収票(写) <input type="checkbox"/> 確定申告書(写) <input type="checkbox"/> 年金の源泉徴収票(写) 平成31年1月～令和元年12月に収入があった者	[本籍・個人番号のないもので、生計を同じくする家族全員分] [無所得者含む家族全員分] [(本人・生計を同じくする兄弟姉妹のアルバイト等含む) 給与所得者] [確定申告者] [年金受給者]
--	--

★ 添付書類の主な注意点 ★

① 兄... 独立して生活をしていても、住民票の住所が実家のままの場合は、添付書類の提出が必要

② 姉... 住民票を異動していても、父の生計の元で生活をしているのであれば、添付書類の提出が必要

③ 祖父... 世帯分離をしていても、同居所(同建物)で生活をしているのであれば、添付書類の提出が必要

出来るだけ詳しく
<悪い例>
・記入なし
・「経済的理由の為」など一言のみ

学校点検者印

担当者印

本人が記入

記入しない

注) 短期間(今後4年間で学のうち今年度1年間のみ希望等)で申請する場合、満了後に継続や再出願はできません。期間についてはよく検討してください。(ただし、在学期間申請し途中辞退は可能)

※ 奨学生等の関係	山口県ひとつくり財団の奨学生であった	・高等学校 奨学生番号() ・大学短大等	・奨学生ではなかった
	日本学生支援機構(貸与型)	・出願中である	・出願していない
	その他の奨学生(貸与型)	・出願中である() 奨学生)	・出願していない

他奨学金併願の有無は採否に影響しません。必ず記入してください。

記入日

令和 年 月 日

公益財団法人 山口県ひとつくり財団 理事長 様

出願者(本人) 氏名 _____ 印

住所 _____

保護者(法定代理人) フリガナ _____ 印

氏名 _____

(昭和 年 月 日生満 歳)

本人との続柄 ()

住所 山口県 _____

・本人と保護者はそれぞれ自署し、それぞれ別の印で押印すること。

全員分必要

●願書記入の注意事項

願書表面

注意事項		確認欄												
氏名	略字等でなく、住民票どおりの正式な字体で記入 ㊟ 漢字字体確認：「崎」「高」「藤」「原」「廣」など													
住所	現住所を記入 (住民票と異なる場合も、実際の住所を記入)													
貸与期間	正規の修業期間までです。 大学院の貸与の取扱いはありません。													
貸与月額	正しく記入してください。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>定住促進奨学金希望*</th> <th>無</th> <th>有</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立大学(含短大)</td> <td>43,000円</td> <td>63,000円</td> </tr> <tr> <td>私立大学</td> <td>52,000円</td> <td>72,000円</td> </tr> <tr> <td>私立短大</td> <td>51,000円</td> <td>71,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>*「定住促進奨学金（大学一般奨学金に加算）について」参照</p>	定住促進奨学金希望*	無	有	国公立大学(含短大)	43,000円	63,000円	私立大学	52,000円	72,000円	私立短大	51,000円	71,000円	
定住促進奨学金希望*	無	有												
国公立大学(含短大)	43,000円	63,000円												
私立大学	52,000円	72,000円												
私立短大	51,000円	71,000円												
家族欄	家族全員を記入（別居の就学者を含む） 続柄に、家計支持者は○印、別居者は△印を記入 (下宿の兄弟、単身赴任の親等に△印をつけてください。) 所得のある人は、給与・営業所得・年金など、所得の種類を記入 就学者は、校種、公立私立、自宅通学・下宿の区別を記入													
生活保護受給	有無のどちらかに○印													
希望理由	奨学金を希望する理由を詳しく記入													

願書裏面

奨学生等の関係	漏れなく記入 他奨学金併願の有無は採否に影響しません。必ず記入してください。	
署名	本人と保護者それぞれが自署してください。 氏名は正確に、住所は現住所で記入。	
印鑑	本人と保護者は、別々の印鑑で押印してください。	

●添付書類の確認：生計を同じくする家族について必要です。

(部分は例年添付漏れによる不備が多い為、要注意)

家族全員分 <small>(役柄にて取得)</small>	住民票→発行3か月以内の原本 本籍・個人番号の記載のないもの	
	所得証明書→発行3か月以内の最新（平成30年分）の原本 ㊟ 所得の有無にかかわらず、願書家族欄記入人数分提出してください。 専業主婦等で収入が0円の場合、パート勤務で扶養控除の範囲内である場合、本人・兄弟姉妹が学生等で無所得である場合であっても 必要 。	

+

令和元年に 所得のある人 <small>同一世帯者のアルバイト・年金受給</small>	給与所得者→令和元年（H31.1～R1.12）分の 源泉徴収票 （写） 営業所得者→令和元年（H31.1～R1.12）分の 確定申告書 （写） 年金受給者→令和元年（H31.1～R1.12）分の 源泉徴収票 （写） ※給与所得者・年金受給者であっても、令和元年（H31.1～R1.12）分の確定申告をした方は、確定申告書の写しを提出	
--	--	--

+

状況に応じて 必要となるもの	障がい者手帳など写し 診断書など 罹災の証明など 生活保護受給証明書	
-------------------	---	--

※この他、状況により、財団が必要とする書類の提出をお願いする場合があります。

★誤記入の場合の訂正方法

- 訂正箇所には二重線を引き、署名押印欄と同じ印で訂正の印を押してください。
(保護者署名欄は保護者印、その他は本人印で)
- 訂正内容の記入は欄外でもかまいませんので、わかるように記載してください。
- 修正液、修正テープは使用しないでください。

★最終確認

- 出願者と保護者でよく話し合いの上、出願してください。
- 記入漏れはありませんか。提出前に確認欄も利用してチェックしてください。
- 学校の締め切りをすぎると受け付けることができませんので、注意してください。